

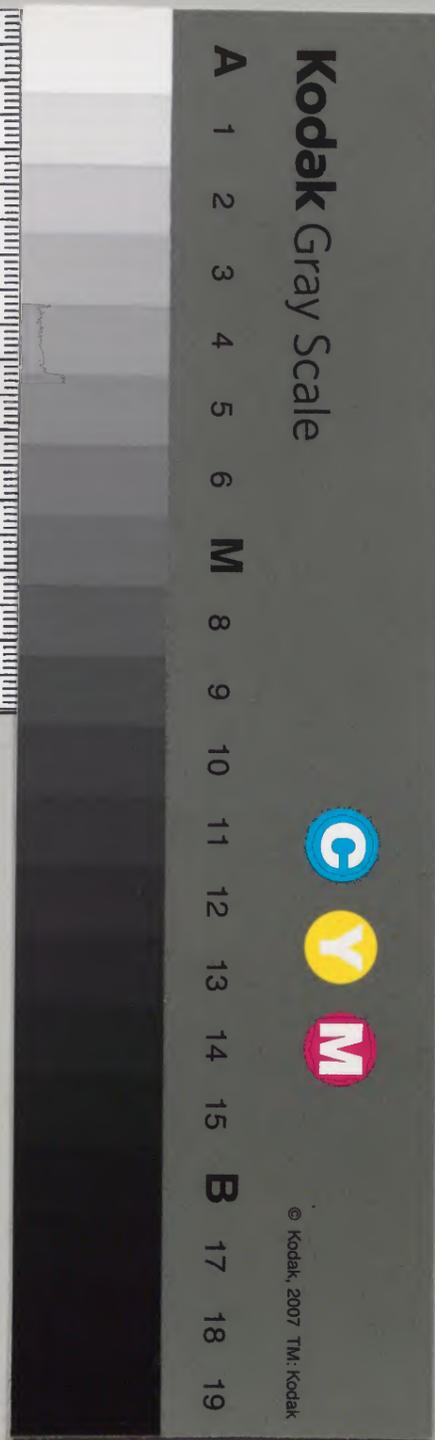
和書門		二九三	函	架	冊
		一七	函	架	冊
		一	函	架	冊
		三	函	架	冊

和書		二九三	冊	架	冊
		三五	冊	架	冊
		一	冊	架	冊
		七	冊	架	冊

內閣文庫	
番號	和 29315
冊數	35 ( 17 )
函號	175 172

地  
五  
七

十七



福山志稿卷十七

邑里第七



福山

十間

南

一町二十三間

古名ヲ疾出村ト云水野記

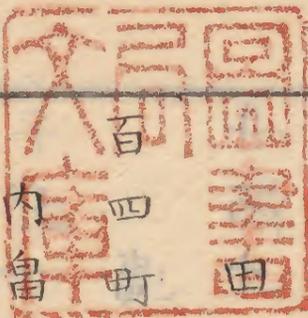
ヨリ

三

成ニ

アタル

村東西二十



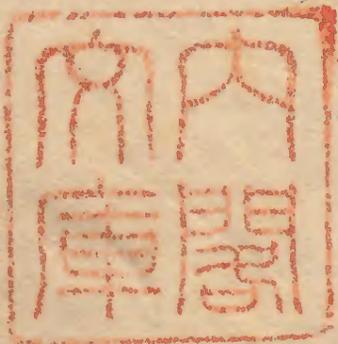
内畠四町三反二十六步

四十二町五反八畝二十步

歳額

九百七十一石六斗三升三合

内畠三百十五石七升五合



戸口

戸二百二十五

口千六十五

内女五百二十僧三瞽四

畜

牛百十九 馬二十七

溝渠

葦田川

福田村界ヨリ近田村界マテ堤長二百五十間

沙川二泓

大溝

唐樋ノ流

新溝一

大溝五

小溝二十九

池塘

平池

周三町十六間

十四池

周五町十六間

小池八

堰間

唐樋一

水他村ニカカル長十二間横五尺五寸高一尺

九寸

陰間

長十四間横五尺高二尺

陰間

長十五間横二尺高一尺三寸

山溪

嶺二

十四多和

捻松越

ミ+新山ニ通ス

石三

立石

長持岩

鏡石

鏡ノ如キ紋アリ

廟墓

牛頭天王

縁起 = 爰當社再興記

天文十年 備後國深津郡江熊

疫隅ト 牛頭天王 江熊今品治 云云

今按 = 和爾雅神社考神社啟蒙本朝諸社一

覽等 = 疫隅ノ社ハ靴ニアリト見江テ江熊

トハ見エス又江熊疫隅ト通ストイフ事隈

ト云字ナラハ灣曲ノ意ニテスミクマトモ

通スヘキヤイフカシ江ノ字エキト創シカ

タク熊ノ字スミトモ讀カタシ又江熊ノ郷

深津郡ニ屬セシト云フモアマリ遙ニ隔リ

タレハ附會ニ似タリ六郡志ニ岩成ノ庄今

ハ二十餘村ニワカツト云フミレハ江熊ノ

郷モ岩成ノ庄ニ屬シテ深津郡ノ内ナリ

ヤサレハ坊寺山守等ハ岩成ヲヘタテテハ

ナレナカラ品治郡ナリシヤイフカシ伊勢

太夫慶長三年配札帳ヲミルニ江熊ノ市宮

内新市場ナリトツツキタレハ昔ヨリノ江

熊ノ名ハアルトミユシカラハ疫隅ノ社

ト云ハ靴ナリコトハ別ニ江熊牛頭天王ト

崇ムルニテトモニ上古ヨリ絶サル宮居ナ

ルハシ尚辨説ノ慶ニ詳ニス別ニ延喜式ニ  
深津郡素盞鳴神社ヲ載ス其慶ヲ知ラズ

磬銘

備後國深津郡江熊牛頭天王社再興之事依瑞  
想天文九年四月十日始斬同二十日成就鐘鑄  
之事同年八月十七日形作始同月二十七日成  
就於長者原鑄之下  
于時天文十年八月朔日

願主長岡五郎左衛門正重  
コノ磬神前ニカク郡ノ字右ニヨセテ細書

ス  
六郡志當社の境内を巨且將來屋鋪と云社あり  
と之株一あり生ひ茂るに屈曲偃臥し右  
松あり二株枯朽寛延の比より漸く一株を  
のこり社地よりハ大竹林よりあり杉板  
あり此森より早苗此森よりハ巨且も植置  
る苗森叢よりありハ根深からんた苗此  
根此あり云

今按ニ晉帥童年ノ頃マテハ三株ノ内二株  
ハ茂鬱シテ一株ク千ノコリタル根アリ都

合三本ナリ寛延ノ頃一株ノミ残スト云ハ  
イフカシイツノ頃ニマ残レルニ株ノ内ノ  
一株中ホトノ皮ニ棟一モト寄生シタルカ  
次第ニ長シテ終ニ松ヲ枯死セシムソノ棟  
生セシ處ヨリ上ハ直ニテソレヨリ下ハ松  
ノ形ノ如ク屈曲シテ今尚アリ  
六郡志ヨリ曰寛曆六年此比古僧此松ノ圖を齋  
拵シて於ノのほりルルニ故々三并海門路  
の邊海邊に傳へりハ海福英の安海の母喜れぬ  
を以て三株此圖を模し賜りしを又九条殿

これ海邊に傳へり一に一首此海邊歌を別

をりぬ

詞書略す

早苗山ノくち代あふく神地此松もぬくは  
新りさうくむ

早苗松三株圖ノ所ニ出ス

六郡志ヨリ此社祭礼毎年六月十四日より十五  
日まであり新市町より此山より海邊にあり神  
輿は孝還孝とも老人扇笠などおと躰と  
り此よりさうめさうめは幸以其形體甚小

ふらふら 初縁に終て後今年迄ハ 逢者より 逢く  
供養一給めてたきゝるゝりふて 互に 誓ひ 終  
興り 幸れ 時川系ハ 果出ハ 興丁 東西より 水り  
れたる しみゝ 相合 打擲ハ 川系 石を 礫ハ あり  
あひな 傷損する 石の あり

末社

八王子

事鞆ノ條ニ出ス

蘇民将来

事別ニ出ス

垢離川

井ナリ井ノ尻ニアリ天王に詣ルモノ手水

ニ備フ

良大明神二社

中谷

砂川脇

八幡宮二社

一社ハ慶徳寺ニアリムカシハ檀ノ上ニ有故

ニ檀ノ上大明神トモ号スト云

天満宮二社

内一社ハ戸手中須新市三村ノ生土神ナリ  
ハ

小祠十三

塔寺

天王寺

早苗山真言宗町村榮明寺末寺

午頭天王ノ境内ニアリテ天王ニ事ヘ奉ル慶

長三年伊勢大夫配札帳ニ天王村天王坊トア

レハムカシハ此所ヲ天王村トイヒシカ中コ

ロ戸手村ヘ入シナルヘシ或云天王坊トテモ

トハ修驗ナリ有地某弟ヲ山伏トナシ此ニ住

セシノテ佐賀田ノ城ノ援城トス今櫓ノ如ニ

シテ小ナル一屋アリソノ時ノ櫓ナリ真言僧

ニナリシハ至テ近キヲナリト云天王坊トテ

配札ヲモ受タルナレハサモアルヘシ有地元

森カ鎧アリ古物トミユ別ニ圖アリ

通證ニ天王寺住持宥俊ハ有地元森カ弟又左

衛門カ子ナレハ相方城廢セシトキ城門櫓ヲ

寺ベ引シナルヘシ有地ハモト法華宗ニテ曰

蓮自筆ノ法華經方便品ヲオサム上人コノ寺

ニ持来リテ今尚アリ上人長壽ニテ貞享四年  
ニ死ス天王坊モト山伏ナラハコノ人ノ代ニ  
僧トナリシナルヘシ相方ノ接城ト云ニハア  
ラスト云又云相方ノ城ノ石垣全存今ニイタ  
ルハ天王寺ヨリ禁スレハナリ

### 法光寺庵

通證ニ六才ト云所ニ庵一字アリ本尊阿彌陀  
如来ナリ即此谷内ニ法光寺山ト云所アリ古  
ハ法光寺ト云寺アリ往古廢壞シテ本尊ヲ此  
所ニ移ス故ニ法光寺庵ト稱ス然レモ御檢地

御圖帳ニ六才ト地名ヲ肩書シテ四ツ堂ト

記ス然レモ後ニ庵ヲ營ミシナルハシ

### 長樂寺庵

通證ニ長樂寺ト云寺跡アリ御圖帳ニ釋迦堂

アリテ地名ヲ長樂寺ト書スムカシノ遺物ト

リト云傳ハリ長樂寺ハ今所ノ名トナレリ天

明年中此所ノ百姓某江戸深川本誓寺ニ住セ

シカ歸来テ庵一字ヲ建立シ如来ヲ此所ニ移

セシナリ

### 小佛屋二

憩亭四

宮ノ下 天王前 ソウドフニ

古蹟

殿山城

事跡不知中頃法光寺ト云寺アリシト云

清明寺跡

今所ノ字トナル寺ノ廢絶年代シラレス

慶徳寺跡

御圖帳ニ鎮守神社アリテ地名ヲケイトク寺

ト書ス良大明神八幡宮トノ地名皆コレナ

レハ此寺頗ル大寺ニシテ境内モ廣カリシニ

宿ノ立石

宿ト云所ニアル大石ヲイフ由来知ラス

古冢三

大佐山白塚

此所石室多シ宿ノ近邊ナリ其内ニ最大ナ

ル者ヲ白塚ト云入口半間ハカリニテ真ハ

入ルヲ凡四五間皆切石ナリ室中ニ蝙蝠多

シ此所村人石ヲ掘リ取時折フシ古器ヲ掘

新市村即宮内村  
宮内村の遺址

出スヲアリムカシ此所ヲ長者ノ管領セシ

山ナルヲ以テ長山ト名ケシト云詳ナルヲ

ヲ知ラス以上五條通證一ハ赤子岩一ハ道家ト云

天王村

天王寺ノ近所ヲイヒシニマ天王寺ノ處ニ詳

ニス

江熊ノ市

慶長三年伊勢太夫配札帳ニシユ

新市村

福山ヨリ三里十二町成ニアタル村東西七町

二十一間南北十二町申明亭榜示八枚アリ

六郡志ニ依テ宮内村ヨリ一ノ長者の頃ヨリ

新市宮内上安井下安井四村ヨリ又當村の

内ヨリ右市新市向市トシツヨク知レリト云

今按ニ慶長配札帳ニ宮内郷天王村トシテ

り大もりむシ人衆むシはむシ金丸む

り急のく由市新市場トカキツツテ安

井二村ハシエス急のく由新市場ト唱エ

テ村トイハサレハ二村トモニ宮内ノ内ニ

アリシヤ大もり今ハ安井ニ入リ邊人系宮  
内村ニ入ル

通證ニ宮内郷新免村木免村アルヲ宮内地藏

堂石燈銘ニ天文九年新免村安養院住僧之稻

トアリサレハ安井ヨ新免ト云シヤ又宮内尾

多賀カ家所藏ノ文明中ノ古證文ニ江熊ノ鼻

ソケ堂ヨリ本免ノ郷マテト云テアリ大抵ソ

ノ所シルヘシト云

田畝

五十七町一反五畝二十四歩

内畠三十四町九反五畝二十九歩

歳額

六百十五石七斗五升七合

内畠二百八十石二斗一升四合

戸口

戸二百八十七

口千百十六

内女五百四十二僧十一磬二外穢多百四十二

乞食二十五

畜

牛四十七 馬三

溝渠

神谷川

藤尾村ヨリ出當村ススハキト云處ニテ葦田

川ニ入ル

湧泉一

本免ノ清水ト云

池塘

小池二

橋約

小橋十四

廟墓

本免荒神

或時地中鳴動セシユハ堀テ見レハ一大ハカ

リノ大鯰アリ即穢多ニ喰ハセニ痢ヲ患ヒ

死ナントスルモノ多シ此魚ヲ神トシ祭ラン

ト祈リテマミシコレナリ

太平山黄幡神

出雲祠官北島左衛門ムカシ素盞鳴尊出雲ハ

来玉トシ時此處ニ一宿アリシト聞傳ハシ事

アリト云シヨシツクフ山根荒神ヲ一宿ノ處  
多クハ此社ナルハシ黄幡神ニアラスト父老  
ハ云ヘルヨシナリ

小祠十四

古墓一

庚申堂ノ前ノ畠中ニアリ姓名年月ナシ其所  
ノ字ヲ石塔ト云

通證ニ丹下與兵衛カ墓ト云

今按ニ陰徳記ニ討死之事ヲ載スソノ光景  
コノアタリナルハシ尚古戰場ノ所ニ見ユ

常夜燈一

町ノ東首ニアリ

塔寺

安養寺

西光山真言宗榮明寺末寺

通證ニ鐘銘曰、柳當寺者、往昔在栗柄村、稱鴨谷  
寺、有地城主有地美作守元盛公之所願寺、而十  
坊餘宇之本院也、故至今稱地名於鴨谷、其後改  
轉號卒山龍華寺、前住侶阿闍梨宥秀、寛永年中  
選勝境移此、又元禄十一戊寅歲、住持辨意再改

而稱西光山安養寺故迄今鴨谷鄉民舉而尊崇  
如執玉奉盈者是此謂乎

本住寺

姥山本隆院法華宗京都本能寺攝州本興寺西  
寺末寺

六郡志云開山善住院日慶慶長年中創造以

通證ニ此寺ムカシ葦田郡相方村ニアリ今ノ

觀音堂ソノ舊址ナリト云傳フ山號ヲ姥山ト

云フハ當寺龜壽山ノ麓ニアリテ山中ニ姥カ

窪ト云地名アルユヘナリムカシ櫻山氏ノ叔

母ノ住シ所ナリト云フ名アリト云

道場坊

鷲鷲山浄土真宗金丸村光秀寺末寺

道場一

六郡志ノ靈巖寺云金丸村西園寺ノ支配

以

憩亭四

石列路ニアルヲ御旅堂ト云松熊相方路

六立石土手

古蹟

網引浦

太平山ノ西ノ下ヲ云神護慶雲ニ賞典アリシ  
孝子網引公金村ココニ住ス相傳ヘテ方三十  
町ノ田ヲ賜ハリ家繁榮ス初貧シキ時樵牧ノ  
夕ノ谷ニ入レハ寒天ニノミテアタタマル水  
アリ取カエリテ父母ニ供スレハ美酒ナリコ  
ノ側ニ糟山ト云丘アリソノ内ニ千町ト云社  
アリコノ左右ヲ長者屋鋪ト云ムカシハ王様  
山トモ大沙山トモ書ク土中ニイロイロノ土  
器アリ又長六七尺幅四尺ハカリノ石擲ニ人

骨アルニ堀出スコアリ人人恐レテマタ埋  
シト云

今按ニ巨且蘇民ヲモ長者ト云コレモ此ア  
タリノコナリ金村ヲモ長者トイヒシヤ

亀壽山城

六郡志ノ小野の宮城トモ亀地山トモ亀壽山  
トモ云々云詳ニ宮内ノ條ニ辨ス

宮下野守兼信

備後古城記ニ元弘年中トアリ太平記ニ宮  
氏ノ人所所ニ散見ス兼信入道シテ後ニ道

仙ト云ヒシナルハシ

参考大平記三十一南帝八幡御退出ノ條ニ

云<sup>上</sup>三月十五日ヨリ軍始メテ己ニ五十餘

日ニ及ハハ早兵糧ヲ盡シ助ノ兵ヲ待方モ

十シサラハ今夜主上ヲ落シ参ラセヨトテ

五月十一日ノ夜半ハカリニ寮ノ御馬ニ乗

セマイラセテ前後ニ兵共打圍ニ大和路ハ

向テ落サセ玉ハハ數萬ノ御敵前ヲ渡リ後

ニ尾テ討留参ラセントス<sup>中</sup>古津川ノ端ヲ

西ニ傍テ御馬ヲ早ノラルル處ニ備前ノ松

田備後ノ宮入道カ兵氏ニ三百騎ニテ取コ

ノ奉<sup>天</sup>正本云備前國住人宮入道<sup>松</sup>備前<sup>十</sup>方ヨ

リ雨ノ降ルコトク射ル矢ナレハ遁レ給フ

ハシトモ見エサリケルカ天地神明ノ御加

護モ有ケルニヤ御鎧ノ袖草摺ニ二筋中リ

ケル矢モ曾テ裏ヲハカカサリケル<sup>下</sup>

今按ニ年代ヲ考レハ道仙ハ兼信ナルハシ

一本古城記ニ兼信鞞ニテ討死墓ハ今郷分

村街道ニアリ法名大勇院傳通法運居士ト

云トアリ

又太平記三十八卷宮内ノ合戦ノ下アリ古  
戰場ノ部ニ出ス

宮二郎氏信

貞和年中

宮下野守時政

應安年中

宮下野守元信

宮刑部少輔政信

宮若狹守秀景

備後古城記天文十年大内義隆雲州發向ノ

時同名左衛門尉ト同道ストアリ陰徳大平

記ニ永正四年十一月前將軍足利義植公防

州ヨリ歸洛ノ時供奉ノ中ニ宮若狹守秀景

モツラナレリ

今按テコノ外足利氏ノ時似記録ニ宮姓ノ

人多シニ備後人ト州コトク舉スモ

宮ト小野宮ト云三字ノ姓ヲ修シテ單姓トス

源姓ナリトイヘトモ諸書ニ藤原氏トアレ

バ或ハ小野宮尤大臣ノ裔ト云説是ナルハ

宮ト云ハ

宮左衛門尉

宮下野守

備後古城記 = 弘治年中トアリ

宮内藏大夫

備後古城記 = 冊下與兵衛治行ト氏天正

二年十二月二十三日備中川上郡國吉城

ニテ討死スト云

今按 = 備中府志西國太平記 = 三村元親毛

利家ノ為ニ攻落サレテ古戰場ノ條ニ事

ナリ然レモ異同アリ古戰場ノ條ニ事

古志三郎左衛門景勝

備後古城記 = ヨル = 高須村 = 同名アリ

合セミルヘシ

一宮鏡石

六郡志ト大依山の續キトあ井の名トモ一宮

の鏡石トツヘるモキトお向ヘリ一宮此下ノ

光臨ありト鏡トむトひトあト神路山ト

ふトツヘリ

今按 = 龜壽神路龜治龜地音似タルユヘイ

ロイロカキニナルヘシ又亀一山トカキシ  
モシユ大抵對譯ノ字ハ義ヲ棄テ音ノミヲ  
用ヒサマサマノ字ヲ填スルコト此邦ノナ  
ラハシホリ某ニコノ字ハ用ヒス某ハ必コ  
ノ字ナリトイフハ事ニコソヨレ必定スヘ  
カラサルコト多シ

祇園原

村ノ東南草原ナリ一宮ノ花甕ニ祇園原道妙

寄附上書付アリコノ人ナリト

馬市

當時諸事ヨリ馬ヲ引来リテ商フ十月二十五  
日ヨリ二十日ノ間ナリ藩ヨリ馬一匹出テ  
下改ト云日ヨリ一匹ニ藁三束荒糠三升ツツ  
タマハリ帳ニシルサレシ日ヨリハ大豆一升  
ツツタマハルノ寶永ノ頃ヨリマミシト云

下安井村ヨリ四里成亥ニアタル村東西二十町十  
福山ヨリ四里成亥ニアタル村東西二十町十  
間南北二十町十  
田畝ニハ八畝十三畝

八十六町二反八畝十三步

内畠四十二町三反九畝十八步

歳額

八百七十八石五斗四升五合

内畠二百七十五石三斗九升八合

戸口

戸二百五

口九百五十

内女四百六十七馨四

畜

牛七十八馬六

溝渠

神谷川

上安井村界ヨリ新市村界マテ隄長千二百六

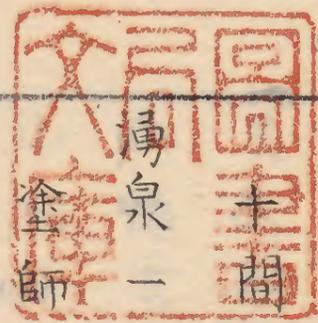
湧泉一

金師屋ト云所ノウシロノ隄下ヨリ出テ一小

川ヨナス

小澗五

池塘



小池十一

橋

小橋二十五

山溪

嶺四

石モロケ

雨木村ニ通ス

マキ

助元村ニ通ス

才野

新山村ニ通ス

蛇切

柏谷ニ通ス

廟墓

良大明神

八幡宮

小祠十六

内ニ加羅明神ト云アリイカ十九神ニヤ

塔寺

観音堂

カシハニアリ宮刑部元理カ位牌アリ山頂ニ  
同人ノ墓アリ大碣ナリ

小佛屋四

憇亭五

ヌシヤ  
ヌケ湯  
沖  
ヒヤウキ  
東

古蹟

柏山城

備後古城記ニ石塔山ノ峰ニアリ助元安井ノ

境ナリ

宮刑部少輔元清

備後古城記ニ宮下野守家光

一本古城記ニ宮城軍ノ時討死シ子孫長州

ニ仕フト云

宮刑部元理

尾關隱岐

蛇斬

カシハト云處新山ニ千カキ山ノ上ニアリソ

コヨリ西ノ野ハ下ル道ニ蛇斬ト云嶺アリ正

月ニハ稻藁ニテ大蛇ヲツクリ路ノ右ノ喬松

ヨリ丸ノ喬松ハ引ワタシ人其下ヲ通ルムカ

シココニテ大蛇ヲキリシト云ツタフ圖アリ  
枝氏筆記云此所ノ百姓秋収ノ時稻三四束ヲ  
各ソノママニトリヲキ正月十一日ノ晨コキ  
ツキ飯トナシテ歳神ニソナヘソノ藁ヲアツ  
ノ蛇ヲツクリカノ松ニカケサテ人人傍ノ夕  
カキ所ニノホリ尻ヲマクリ打タタキ大森ノ  
モノトモコレヲ喰ラヘ尻クヘ尻クヘトイロ  
イロ悪ロシテ歸ル大森ハコノ下ノ人家アル  
所ナリタマタマソノ所ノ人ソコヲ行スル  
事アレハ古例ナレハ黙シテカヘル或ハ大森

安養寺跡

ノ兒女ヲテ聞テ笑ヒタノシムト云  
六郡志ノ其子ノ宮内龜地山の城ニ小野宮  
代ノ石塔ヲ其村の百姓五兵衛ノりふもの  
我地内ノ折ノ掃除ノりるり身上零落  
て屋鋪ヲ知テ落ノりるり其地ニ  
たゞりぬ色以迄ハ一ツの塔ニ安養院白壁昌  
純居士ノ文字思エテ今ハソコニ  
志

穂ノ神

六郡志の蛇園へ越山道に松二三本あり十九

天狗ノ腰懸松

同ノふあり

附

近藤氏席上分題各賦余得宇治

西山正

河橋南北水奔流戰跡蒼茫幾世愁天險祇今無  
所用閑將蒿目送樵舟

上藤氏コノ村人ナリ因テココニ附ス樵舟

ハ加<sup>カ</sup><sub>カ</sub><sup>ク</sup><sub>ク</sub><sup>キ</sup><sub>キ</sub><sup>コ</sup><sub>コ</sub><sup>ク</sup><sub>ク</sub><sup>キ</sup><sub>キ</sub><sup>コ</sup><sub>コ</sub><sup>ク</sup><sub>ク</sub><sup>キ</sup><sub>キ</sub> 出タルナルハシ

上安井村

福山ヨリ四里十町亥ニアタル村東西九町南

北三十町

田畝

四十七町四反三畝十九歩

内畠二十三町六畝十四歩

歳額

五百三十五石七斗四升二合

内畠百七十九石二斗三升四合

戸口

戸百一

口四百八十四

内女二百四十四

畜

牛四十九 馬七

溝渠

神谷川

常村界ヨリ下安井村界マテ隄長四百八十間  
蘆浦川アスラ

常村ヨリ出神谷川ニ入ル隄長二百八十五間

湧水一

河渡清水ト云

池塘

小池七

堰閘

水碓四

橋約

小橋四

山溪

大鳥山

石二

三石

神谷川ノ内ニアリ清水出

鏡石

大石ニツカサナル

廟墓

石淵大明神

小祠十六  
日隈古碑

六郡志ノ宮内村石淵とお智ヤリと云  
 六郡志ノ日隈山の麓安松と云ふ田の畔にあ  
 り日隈殿といひつゝふ通證ニ延文元年丙申  
 十一月日願主夢阿彌ト云文ヲノス六郡志ノ  
 瘡或ハ貴齒杯煩之の祈身は必驗有と云常ニ  
 香火ノハ此邊ノ首立切堀の用るといふ  
 塔寺

安樂寺

石鏡山真言宗榮明寺末寺

此山上ニ吉備津彦ノ鏡トテ大ナル石アリ故  
ニ石鏡山ト號ス六郡志ノハ神宮ヲ末庵天正  
の次ナルを建つをめは修繕もありし寛  
延の頃よりサ修くるるを云

毘沙門堂

少林寺地名

憩亭五

五日市

ニ此後尺圍ニ楢ノ木アリニ大

大森

大竹

桑

木場山根

古蹟

網引浦

新市ノ條ニ出ス地ハツツキシ處ナリ

下迫城

宮越中守忠興

備後古城記ニ出ツ

日隈城

備後古城記ニ此山表ハ上安井裏ハ常村ニ郡  
志ノ其村の名を西の丸といひ常村の名を二

の九よりふとさ以て田畑を耕すは鑛鎧の金  
物等とせしむ

日隈肥後守快真

備後古城記ニ宮下野守ノ家老ニ雨木助

元雨村ノ間軍ヲ端ト云處ニテ戦死ス家士

ニ田上江草甲斐等有ト云

雨木村

福山ヨリ三里十八町亥ニアタル村東西二十

三町南北七十五丁

田畝

三十五町八反五畝二歩

内畠十八町四反二畝四歩

歳額

三百二十八石四斗三升七合

内畠百二十二石一斗八升六合

戸口

戸百四

口四百六十三

内女二百十三僧二磬一

畜

牛十三 馬四

溝渠

本谷川

蛇園ヨリ出ル

野野藏川

村内ヨリ出

池塘

馬地池

周一丁十八間

小池十六

橋狗

小橋十六

山溪

野野藏山

風呂谷山

松茸山

コノアタリ四圍三十一山ナリ

蛇園山

根回り五里二十七町五十間高三町八反  
村中、内島

リノ量平地ヨ

正徳三年己十二月改

御繪圖奉行

大橋源惣兵衛

御郡奉行

小高平八

大御目付

石黒彌市郎

御繪圖役

秋庭庄兵衛

手傳

菅谷藤右衛門

雨木村 本郷村 助元村 永谷村 新山村

中島村 戸手村 新市村 上安井村 下

安井村 常村 金丸村 藤尾村

右十三村蛇園山之根張へ入依村 但峰者雨木村地内

正徳三年

備後國蛇園山繪圖

御勘定奉行大久保下野守格

被仰付則菅谷市左衛門

承之儀由

同十一月廿四日被仰渡清繪圖方秋庭在兵

衛手傳管谷藤右衛門清勘定方高橋伴藏同廿

七日蛇園山は至越同十二月廿日出來同廿五

日江戸は差出儀

右者大橋源惣兵衛日記有之寫

右者清勘定所記錄有之寫也尤繪圖並其書

面也

本村長助辰清肝英相調申儀依り記至考也

品治郡服部兩木村江種十藏

右雨木村十藏家ニ記スル所ナリ

秋日登蛇園山

空空庵名大玄泉列人

千尋蛇嶺倚西列疊翠高臨大海流仙客竈頭煙

氣斷龍王祠上白雲浮九江雨霽賈帆返四國天

寒羈馬愁瞻望自忘塵俗意欲辭幻世老林邱

石

大ノ足跡石

赤子ノ足跡石

共ニ岩疊ノ四五間傍ニアリ外ニ抱キ岩獺

岩等アリ

廟墓

長ノ尾大明神

八大龍王

蛇園山頂ニアリ

蛇園山高竈龍王廟記

備之三州、蓋東桑關、鍵之邦、而西溟襟、喉之地也、  
後州、竈稱膏壤、南望、讚、豫之都邑、北通、雲、耆之舸、  
艦、自古有神龍廟、鎮於品治郡、群巒環、聳、河水帶、  
繞、當于春、闌、明媚之際、秋、涼、蕭、蕭之初、吐雲、簇、霞、  
髣髴、半、麗、屋、大厦、炊煙、爨、氣、倏、起、倏、滅、俗、稱曰高

竈、蓋由於此乎、文治年中、武衛、賴朝、源公、令土肥、  
實平、梶原、景時、掌於中國、政務、始知靈蹤之所在、  
以建廟、奠曰、八龍王之宮、復創八幡祠於山麓、其、  
規模、準乎相之鶴岡云、中葉有宮氏、常陸、入道也、  
者、據有本郡、侵略四邊、戎馬、縱橫、豺虎、相噬、所有、  
寶、搆珠、薨、為兵燹之所厄、瓦礫、狼藉、乎、藜、藿、之間、  
而所謂龍王殿、僅存而已矣、傳道、曩昔、天龍、乘石、  
船、降臨、山腹、石面、有舳、艫之狀者、呼曰船巖、大抵、  
觀山之形勝、丹、岨、翠壁、豎、峙者、奇巖、恠石、橫、伏者、  
澗水、潺、潺、揉、藍、飛、白者、松杉、鬱、鬱、植、幢、張、蓋者、不

遑狀出焉、有榷係山、上下長數百丈者、曰大榷嶽、  
猿覆之所棲止者、曰猿城、正月獼祭魚於石上者、  
曰獼越、有淵曰蒼木壺、側有祝詞巖、天旱則民卒  
巫而舞雩、而無不徵矣、其流洄復者、曰蟠龍、其巖  
跪踞者、曰蹲虎、以形肖而名焉、加旃風雨晦冥、晴  
陰電雪、雲膚寸而合、甘霖潤於百里者、其靈雖泰  
山神府、而不多讓矣、其下邑曰雨木者、不亦宜乎、  
寬永中、水野勝成府君、命吏築隄塘、鑿陰溝、開閘  
門、引澗濺湫、以通民田、於是其餘百流、千泓、滾滾  
歸湫、以朝會之、凡有數郡之氓、歲無亢旱之患、而

家免懲求之譴也、謳市林野、歡聲弗絕、靡不出于  
龍淵之澤、而柳府君之仁、亦溥矣、此峰稱曰蛇園、  
蓋本邦風俗、喚龍為蛇尚矣、所言蛇者、毒蟲多種、  
類大小不同、古有巴蛇吞象、漢高夜行、斬白蛇之  
說、雖大、非所以神龍變化不測、而得天地自然之  
道者、當謂之龍淵、而謂之蛇園、嗟呼、淵之與園、音  
相近焉、訛邪、其謬滋甚、且民俗好信靈恠、故妄誕  
附會、道聽塗說、寔可嘆息耳、今採其可紀者一二、  
以作記云爾

延享龍集乙丑夏五月書

見住明王院沙門三剛壽山

今按三剛ハ服部村人ノ子僧正トナル文

中築堤塘開闢門ハ七八十町ヨソナル法成

寺ノ池ヲ云ナリ危岩蹲虎澗水蟠龍等ノ文

字ヤヤ文飾過タリト見ヘテ今ソノ處ヲ尋

ルニ知人ナシ然氏際略ヲ見ルヘケレハ刪

リサラス

神田神社

三代實録貞觀二年春二月二十八日授備後國

正六位上神田神正五位下

今岩疊神社ト云別ニ説アリ通證云安井村ハ

越ルトコロノ道ニ大石ノ上ニ平カナル石ヲ

重子テ石塔ノ如キモノアリムカシヨリ人皆

墳墓ナラントイヒシカ元文ノ頃吉田ハ参候

セシ社人ニ備後國二十一社今按ニ十一社ハ

シ式内十七社ノ内品治郡ニ岩疊ノ神社ト云

アリ知タル哉ト尋ラル夫ヨリ當國ノ中ヲ吟

味シテ則此石岩疊ナルハシト云シトアリイ

カニモ古ハ社モ有シ所トモ見ユレトサセル

證モナシ又云和名抄ノ葦浦今一小谷ノ名下

ナルココヲ神田ト云亦ソノ例ナルハシ

小社三十二

古墓一

仙山ニアリ宮常陸守ノ壕ト云所ナリ

塔寺

正覺寺

月曜山浄土真宗照林坊末寺此寺ハシメハ長

福寺ト云

憇亭六

神田田口新屋野野倉西日和田

古蹟

泉山城

泉一ニ仙  
ツクニル

宮常陸介元清

備後古城記ニ天文年中ニ敵中島村石崎信

實寄来リ城山ノ向ニ雨木助元ノ境ノ山ニ

陳ヲカマヘテ戰ヒ宮氏討死ス其時家臣田

上江草甲斐其外家人鑓長刀弓等ヲ井ノ内

ハ投込城ヲ焼拂フト云城門前ハ今助元村

ニアリ菩提所宮信光開基禪宗信光寺ト云

三島三郎

甲斐助元

今按ニ村名ハ此人ノ名ニヨリシヤイフカ

シ

原城

土肥

備後古城記ニ只二字ノミアリ

一本古城記ニ土肥通綱トアリ桑原氏ノ祖

ナリト云

梶原屋鋪

蛇園山中ニアリ梶原平三景時土肥次郎實平

ト同シク此國ノ守護トシテ來住ス其アト今

尚梶原ヤシキト云此比ノ官遊人ハ府中ニコ

ソ來ルヘケレ戰鬪ノ後ナレハ險阻ニヨリテ

ココニ來リシカ府中ステニ廢絶ノ後ナリシ

マアノ中ノ童謡ニ地頭土井殿代男ハ梶原ノ奴トウケヒヨシ

千人塚

藤尾村金山アリシ時礦ハツフレテ堀子ノコ

ラス死スコノ處ニ松ヲウエテシルトセシ

ト云松今尚アリ圍一丈ハカリ

助元村

福山ヨリ三里十八町戌亥ニマタニ村東西二

十四町南北四十二町

田畝

四十三町二反二十四步

内畠二十六町六反二畝十九步

歳額

三百七十一石二斗四升

内畠百九十石一合

戸口

戸百十三

口四百八十二

内女二百四十僧一馨三

畜

牛六十二 馬四

溝渠

服部川

服部本郷村界ヨリ服部永谷村界マテ堤長三

百八十四間

溝川一泓

多和ト云所ヨリ出タルニ川へ入ル

池塘

小池八

非橋約

小約七

山溪

嶺一

炭焼峠

安井村ニ通ス

樹

笠松

大木ユハ地名ヲ笠松ト云

廟墓

小祠十七

塔寺

信光寺

重樂山禪宗龍興寺末寺宮常陸守信光開基

六郡志ト邦彦城ニ於系宮内少輔忠興の墓ハ

山名豊清の娘アリケリ弘治三年此春忠興

死去セリ時年三十歳ト及ミ

鬚を切剃刀で鼻を截真順を夫に示し忠貞  
卒後苑刈奴田佛通寺に受戒ある古寺に忠  
終りしりし陰徳大平記にありその古寺に  
へりハ世にせりりり又村老の語傳り  
ハ忠貞卒後其妾一壽の前以の外淫乱し  
智を神道の場を追出以一壽凌鎮れ法道と  
頼に記りしりし智を穿り尼たりり佛通寺  
に参りし一ハ堅固たりりりハ宮常陸と  
れを信しりし世にれ傳を追出り此尼を信せ  
し玉りしりし志をりり尼たりりりりり  
後又

七しりしりりり

今按ニ法道寺ニ一壽カ願文今ナホアリ然  
レトモ別人トミエ辨説アリ

憩亭十三

地藏堂 薬師堂 観音寺 峠 ハナ 石井

門前 下タルニ 寺上 カシマ 堂 迫

山根

新山村

福山ヨリ三里成ニアタル村東西二十町南に

二十一町十五間

田畝

四十三町三反一畝二十五步

内畠十七町六反二畝二十步

歳額

三百三十二石四斗六升五合

内畠九十四石八斗二升三合

戸口

戸九十一

口四百五十二

谷内女二百十九僧四藝五

畜

牛七十二馬一

溝渠

服部本川

服部永谷村界ヨリ服部大池ヲテ隄長百十八

間

下夕儿三川

堤長二百十八間

正之川

堤長二百間ムロトウ川ニ入ル上ニハ谷

一泓ムロトフ川一泓合メ此流トナ

池塘

小池三十四

服部大池ノ内此村地モト十二町六反十リ

法城寺村ノ條ニミユ

橋狗

小橋一

山溪

谷六

嶺二

萱州越

助元村ニ通ス

才ノ多和

小味下安井村ニ通ス

石

大悲石

岩舟ノ事

鳴石

此岩敲トキハ聲ヲ發スルト磬如シ

波打岩  
鬼ヶ釜

ミナ大坊ノ後ニアリ

大廟墓

天神社

小祠六

塔寺

福盛寺

妙雲山真言宗明王院末寺モト新山ト云コノ

號ハ近頃ツケタルナリ鐘銘ニヨルニ大同年

間ニ創立スル所ニシテ中頃百五十貫ヲ領シ

十二子院アリト云

六郡志ニ云キチ天正年中雷火ニシテ燒失以往

古よりノ記録ニキタルニ相傳フ事ナキ五

十一代ニ平城天皇二年ニこの山湧出

リ新山トナリク太古迄ニハ大海ニシテ觀音石

船日ノりてナリト云ヒ一其石船今チ池ノ

如ク山トナリアリ古同元年日大ニ人開基ト云

ふ舟車記ニキタルニ古同元年ハ平城天

皇清即位此年ナリ山湧出ト云ル事ナリ

や石取の聲ありち流ありを〜め開基のありり  
天文永禄のゆり〜人ち〜〜塔を〜二坊を  
りりり松平坊を〜りの〜〜知ハほのけを  
りりソひ〜〜福急家の時慶長五年除地坪  
付し通あり除地拾むる壹坪るり〜元禄の  
ゆりゆりも流取〜〜り〜  
又立芝長〜〜り〜〜新市ま  
この間を岩岫村〜〜新山ハ仁五巻より福  
登りの山迄をソひ〜〜新市ま〜の  
間を二十々村をわらち〜的苗をこれ迄を〜三

る〜移る余を新山村〜せ〜る〜二五巻  
ハち〜り十四五町を〜〜中巻境の  
田の畔を朽積川享保の以再無〜の二五  
の背のまひありた〜記す  
寛元三年歳次乙巳十二月十五日形像作大  
佛子僧昌快  
位牌一  
雷震院殿徳岩元理大居士神祇トアリ宮刊  
郡少輔トリ同人墓安井村柏観音堂ノ後山  
三アリ位牌観音堂ニモアリ

此寺ノ住持檀那門田氏ハ正月三日ニ年禮ニ  
參<sup>同</sup>五日ニ門田氏寺ハ來ル希有<sup>ハ</sup>例ナリコ  
レハ桑原氏塙主タリシ時年年元三ニ祈禱ニ  
登城シ五日塙主佛參アリシ古事ナリト縁起  
ニ見ユ此寺正月ニ餅ヲツケハ必火災アリト  
テ年年餅ヲハ門田氏ヨリ送ルト云  
福盛寺ノ諸坊廢絶ノ後<sup>サ</sup>字ニ坊名ノ今ノコレ  
ルモノ大坊ヨリ四五丁山ヲ下リ中大坊ニ下  
大坊塙之坊日光坊千光坊東坊東  
圓坊等ナリ松本坊ノミ今存セリ

松本坊

妙雲山真言宗明王院末寺

古蹟

古城一

事跡シレス

古冢一

服部永谷村

福山ヨリ三里戌亥ニアタル村東西一里二十

九町三十七間南北十町十六間東北中津領安

那<sup>郡</sup>百谷村 = 接又

田畝

五十六町六反七畝二十七步

内畠三十二町三畝十四步

歳額

四百三十八石九斗二升二合

内畠百八十七石八斗<sup>四升</sup>四合

戸口

戸百二十二

口五百七十六

内女二百八十二僧七賢四外穢多六十三

畜

牛九十 馬二十一

溝渠

服部川

助元村界ヨリ新山村界マテ隄長十町十六間

池塘

小池十六

橋約

小橋十三

山溪  
嶺一

四坂峠

西法城寺、通ス

鼠谷

ムカシ銀鑛ナリシヨシ云傳フ

廟墓

八幡宮

通證ニ此社服部四箇村ノ惣生土神別當永昌

寺社司本郷村兎玉甲斐ナリ祭禮ハ八月十五

日ニシテ十三日ヨリ十七日マテ神事アリ十

五日神輿行幸ノ時公聞ト云役アリ此ハ昔雨

木村城主宮常陸ノ勤メラレシヲ今ニテハ里

正當役ヲ以テコレヲ勤ム今ニ至ルマテ宮氏

ノ古格ヲ以テ當日神馬ノ外公聞ノ乗馬一疋

弓槍鐵炮其外道具ヲ立テ揃ヘサセテ供奉ス

ルナリ祭禮中ハ神事ハ勿論何事ニテモ公

聞ヨリ言出スヲ編宜別當ヲハシメ四箇村ノ

者邊背スルヲ能ハス其外茶烟草ニ至ルマテ

公聞ヨリ先ニスルヲ不能席ナト勿論ノ

ナリ甚古雅ナリ神事ニテ近邊外柑ニテハカ

マウノ例ハナシト云盛榮云公聞ハ公文モト社領ナリ

小祠二十六

塔寺

榮昌寺

良山真言宗明王院末寺モト良明神アリテ龍田十六町七反五

泉龍寺

坂井山浄土真宗光照寺末寺

小佛屋

惣亭二

凉堂 中市

古蹟

掠山城

桑原越中守通兼

備後古城記天文十年大内氏雲州發向ノ時

從軍夕リ一本古城記ニハ宮ノ氏族ナリト

目寄掠之丞秀定

一本古城記ニ桑原氏ノ家老ナリ桑原没落

ノ時城主夕リ尼子ニ屬シ伯州ニテ戰死ス

大澄城

桑原縫殿之助

高山

好古日録ニ備後國高山硯ヲノス國中ニ同名

ノ所アリイツレノ高山ニヤ

大門

雨木ノ城盛ナリシ時此アタリ町家ニテ大仙

祭コトニ馬市アリシト云或ハ大仙祠ハ寶永

年中ニ刑右衛門ト云百姓ウツシ來ルト云前

説ト粗語ス

市場

中市

讀坂

明細書ニ昔一馬卒空樽ヲ駄シテカヘル一男

子忽ニ出テコノ書ヲトケ玉ハレトテ授ケ

シヨ何心ナク受取來リトケル人ノ名ヲ問

ハサリシカハ此坂ニテ人ニ逢テ其書ヲ出シ

讀シムルニ名アテアマシトテ剥封シテ見ル

ニ空樽ツケタル人ノ賜一具進上イタシソコ

トカケリ扱ハ水中ノ河童ナトノシワサナラ

シ川アル方ヲ避テ歸レヨトススノラレ迂路  
シ云ソノ厄ヲ免レシト云ソレヨリココヲ讀  
坂ト呼フトナリ

服部本郷村

福山ヨリ四里亥ニアタル村東西十五町二十  
間南北二里一町二十間東北隅少シク公領神  
石郡坂瀬川村ニ接ス榜示ニ枚アリ  
雨木助元本郷長谷ハミナ服部ニテコノ村ヲ  
本郷トイハソノカミ役所ニテモアリシ處

備中モリノ名也ハ  
イフカシ和銅二年  
ニ備後安藝寺三  
十二國ニ記シテ後  
錦ヲ織ラセラレシ  
ナリヤ

十ルハシ新山ノ福盛寺ヲ服部ノ大坊トイヒ  
十ラヒタレハ服部ノサカイ四村ノミニモカ  
キラサルニヤ 應神天皇ノ妃吉備兄媛ニ  
織部ノ縣ヲ賜ハリシヲ總叙ノ處ニシテ  
田畝  
四十町四反九畝二十九步  
内畠二十一町九反三畝十三步  
歳額  
四百廿五石八斗九升三合  
内畠百五十六石一斗八升七合

戸口

戸百五十

口四百九十九

内廿二百二十九僧十四誓二

畜

牛九十七馬五

溝渠

谷川

藤尾村ノ谷谷ヨリ出服部川上十リ

澗一

池塘

小池二十三

橋

小約十七

山溪

嶺一

ハツ坂

本郷ヨリ百谷ニ通ス

履掛

公儀御巡見休所

銀山

元禄中當村久兵衛新山村新左衛門ト云者堀  
リシヨシ廣尾山内鼠谷木トウラ兩處ニ古穴  
アリ今ハ出テス凡コノ傍近ノ村村四面皆山  
ナリワツラハシケレハ名ヲ載セス

廟墓

小祠十

塔寺

福泉坊

江葉山浄土真宗西本願寺末寺

寶泉寺

浄雲山同宗光照寺末寺

圓福寺

湯船山同宗三次照林坊末寺

小佛屋一

憇亭十一

小田 廣尾 畑中 中部屋 山手 砂原二

家信 野鍛冶 巫原 鍛冶屋

古蹟

勢山城

梶原平三景時

日隈肥前入道快真

杉原伊賀守盛兼

天文年中

木梨伊賀守

今按

木梨杉原同家ナリ或ハ同人ナラン

勢山ハ大平記ニニエタル戰場ナリ



ト云

孝子

孫四郎

總叙ニ出

